

令和8年度 熊本県立大学 環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻
一般選抜試験問題（後期日程）小論文 出題意図

〔出題意図〕

問題Ⅰ

遊び場という観点から居住環境を見渡した際に、外遊びの場やそのきっかけを増やすための対策について、自分の考えを論理的にまとめることができるかどうかを問う問題である。

問題Ⅱ

持続可能な発展を実現するための基本的な要素である物質フローを取りあげ、この図から変化を読み取り、それを踏まえて今後必要な取り組みについて、自分の考えを論理的にまとめることができるかを問う問題である。

〔解答指針〕

問題Ⅰ

遊び場という題材を使いながら居住環境に対する観察力と創造力を測る。外遊びの場として身近な居住環境の使い方や仕組みに対し観察し理解していること、そして、遊び場づくりや遊びのきっかけを増やすためのクリエイティブな発想ができることを求める。また、子どもだけでなく多様な住民の観点を含めた提案であることを求める。以上を踏まえながら、自分の考えを論理的に述べているかを評価した。

問題Ⅱ

この図から読み取れる変化を簡潔に説明することと、今後どのような取り組みを進めていくべきかの2点を問うており、どちらかだけを論じるだけでは不十分である。また、この図から読み取った変化を踏まえることを求めており、どの観点から自分の考えを述べるのかを明確にしながら、読み取ったことと関連づけて、今後の日本社会が持続可能な発展を実現するために必要な取り組みについて、自分の考えを論理的に述べているかを評価した。